

実用化 事例

地域性を生かした商品の開発支援

【相手先企業】

茨城県商工会連合会

【開発の背景】

本製品は、平成20年度「地域資源∞全国展開支援事業：馨る茨城！プロジェクト」として茨城県商工会連合会が主催する事業において開発されました。

「馨る茨城！プロジェクト」は、茨城県内の6地域（大子町、笠間市、大洗町、行方市玉造、つくば市、石岡市八郷）の商工会が集まり、各地域の特色を生かした香り関連商品の開発をおこなうために結成されました。

当センターも商品開発などを推進する委員会委員・ワーキンググループ委員として参画し、プロジェクトメンバーと多くの意見交換をおこないました。特に、商品開発アドバイス、アイデア提案などの役割を担いました。

【開発の経緯・支援内容】

商品開発では、「香りとは何か」「各地域の持つイメージとは何か」という考察から、商品のストーリーやターゲットを絞り込んでいきました。また、食品・アロマ・WEBサイト運営などの各専門委員による講演会も行われました。

こうした検討により、各地域それぞれの独自の商品と、共通の商品を作ろうという方向性が生まれました。今回紹介する「kaoru ibarak! Select6」は、参加6商工会それぞれの地域の特徴を表現した手作り石けんのセットとなっています。（石けん1個 650円「税込」）



【開発した製品の紹介】

地域性を香りと色、模様などで表現した石けんは、「おいしいお茶のソープ（大子町）」「土と火のソープ（笠間市）」「潮の香りを聞くソープ（大洗町）」、「いにしえのヤマユリ（行方市玉造）」、「宇宙（そら）いだく（つくば市）」、「隠れ里のバラソープ（石岡市八郷）」の6個です。いずれも石けん製造業者によるひとつひとつの手作りで、素材とイメージにこだわった美しい商品です。

今年5回目を迎える「いばらきデザインセレクション2009」では知事選定を受賞することができました。

今回、当センターでは地域の特性を生かした商品の開発に参画し、コンセプト立案や市場調査などのお手伝いをさせていただきました。開発に関するメンバーの熱意やネットワークが、可能性や広がりを持つ商品を生むということを改めて実感いたしました。

今後も改良等を行い、より良い商品へ繋げていくと製造業者は意欲的で、当センターとしても継続した支援を行いたいと考えております。



基礎となった事業

平成21年度 技術相談

現在の担当部門

企画管理部門

副センター長 齊藤 均

tel : 029-293-7212

工芸技術部門

技師 望月 聡美

tel : 0296-72-0316